

ママ
大好き!



佐藤まゆみ さん
(鮎貝地区)

インタビュー よびござったなっすー 子育ては親がやるのが 基本です。(きっぱり!)

とにかく明るく、元気で笑顔がすばらしい佐藤さん。5人の子さんを持つスーパーママさんです!

友だちがたくさん

生まれは東京ですが、親の仕事の関係で九州各地を転々。

幼稚園2回、小学校3回、中学校2回の転校をしました。鹿児島が一番長かったです。

鹿児島といえば

そう、桜島! 住んでいた鹿児島市内に

も風向きによって灰が降ります。トゲトゲしていてチクチクします。

白鷹の印象

雪の壁にびっくります。想像以上でした。

それと、言葉!

ボソボソ、モゴモゴ... こちらに来て9年目ですが、いまだに聞き返すことがあります。

鹿児島の人はハキハキ

私はぶつづに話しているつもりなのですが、剛速球に感じられるようです。

九州男児と比べたら

白鷹の男性は地域の集まりに率先して参加して、しかもママに動く姿に驚かされました。また、穏やかで優しいです。その分、女性は強いイメージがあります。

食べ物は

料理のバリエーションが豊富です。干したり、漬けたりにかくすべておいしいです!

自信をもってアピールしてもらいたいです。

戸惑ったこと

「隣組」にびっくります。協力金や寄付金など、いろいろな出費がありますね。今までは当たり前のことでも、当たり前でないと感じる人も増えていきます。使いみちなどを公開していくのも大事なのではないのでしょうか。

子育て・教育

子育ては親がやるのが基本で、なんでも行政や援助に頼ってしまつのはダメでしょう。それにしても病院に産婦人科や小児科がないのは困ります。

町への期待

子どもたちがゆっくりと読書ができる図書館がほしいです。

また、地域のまちづくり懇談会的な会合などは、なごやかな雰囲気こそ本音が出ると思いますので、堅苦しくなく、子どもと一緒に参加できるものがいいと思います。

議会へ望みたい

議会が子育て世代の距離は遠く感じます。町のイベントなどで議員さんと触れ合う機会があるといいと思います。

広報誌については

「むすかしい文章」はまず読まないの、でできるだけわかりやすい表現にしたいと思います。

編集後記



今後の婚活イベントに「参加しなくともよい」と思っている人が7割近いことに衝撃を受けました。婚活に関する初めてのアンケートの結果です。人口減の影響は町民の暮らしにボデイブローのようにじわじわ効いてきます。婚活対策は町の優先課題の一つなのは誰の目にも明らかなのに、何となく他人まかせな感じがします。先日、スポーツ婚活でカップルが多く誕生したという記事が山形新聞に掲載されました。他の地域の成功例に学びながら町をあげた真剣な取り組みが求められます。(笹原)

広報委員

委員長 山田 仁
副委員長・編集長 小口 尚司
委員 石川 重二
委員 佐々木 誠司
委員 笹原 俊一
印刷・(有)梅津印刷

お手持ちのパソコンで議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。